



# 最上エコポリス通信

mogami ecopolis tsushin

2022年12月号

山形県最上総合支庁 隔月発行  
最新情報はツイッターでご覧ください



## 知事と若者の地域創生ミーティング開催！！

10月13日大蔵村中央公民館を会場に、10月31日舟形町福祉避難所「てとて」を会場に、「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催され、地域の若者がより良い地域づくりを目指して吉村知事と意見を交わしました。

大蔵村の参加者からは、「地元に誇りを持ってもらいたいと考え、地元の歴史や伝統を知ってもらうための活動を行っている。」「農業や観光などでSNS等を活用した発信が必要」などの意見が出されました。

吉村知事は「交流することで人は育っていく。繋がりを広めていただき、みんなで元気で住みやすい村にしていってほしい。」などと呼びかけました。

舟形町の参加者からは、「若い世代の移住・定住者が増えしてほしい。」「農業は高齢化や担い手不足が深刻、作業の効率化が大事」などの意見が出されました。

吉村知事は「前を向いて協力しながら地域を良くしていってほしい。仲間を増やし、行政とも協力しながら皆さん自身が町の良さを発信していってほしい。」などと呼びかけました。  
[総務課 29-1360]



## 地域における最近の状況や課題について審議しました

11月18日、最上総合支庁において、第2回最上地域議員協議会が開催され、最上地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、最上地域における最近の状況や課題について審議が行われました。

審議に先立ち、泉支庁長から管内の状況についての説明があり、その後、委員から新型コロナウイルス感染症への対応、物価・資材高騰による農業生産への影響と対策、管内の鉄道活性化に向けた取組み状況、管内の観光客の入込状況・確保に向けた取組み、健康増進に向けた取組み、県立新庄病院に設置予定の総合患者サポートセンター及び在宅医療・介護連携拠点の準備状況など、各分野にわたって審議が行われました。



[総務課 29-1211]

# 東北中央自動車道がさらに北へ延伸しました！

～泉田道路が令和4年11月20日に開通～



東北中央自動車道の一部を構成する、国道13号「泉田道路」(新庄鮭川IC～新庄真室川IC)延長8.2kmが11月20日に開通しました。

当初は令和4年度内の開通が予定されていましたが、国土交通省などから早期の開通に御配慮いただき、本格的な降雪前に前倒しされたものです。

当日は、開通に先立ち「新庄真室川IC」において、開通式が行われ、平山副知事が「最上地域への観光誘客、交流人口の拡大、物流の効率化による産業振興、救急医療搬送の迅速化、定時性の向上などに大きく寄与するものと期待する。」と吉村知事のメッセージを代読しました。その後、テープカットとくす玉開披を行い、開通を祝いました。

東北中央自動車道は、10月29日に「東根北IC～村山本飯田IC」間が開通し、最上地域が全国の高速道路ネットワークとつながったところであり、「泉田道路」の開通により利便性はさらに高まりました。

最上総合支庁ではこれまで、東北中央自動車道の活用促進による地域の活性化に向けて、県内外への開通PRなどを行っております。

今後も、更なる利用拡大を図るとともに、東北中央自動車道の全線開通に向け、関係機関と連携し取り組んでまいります。

[建設総務課 29-1391]



## 新庄市で5年ぶりの開催 第72回山形県民福祉大会

11月21日、新庄市民文化会館において、坂本県議会議長、山尾新庄市長ご臨席のもと、新庄市では5年ぶりとなる「山形県民福祉大会」が開催されました。

式典の中で県知事表彰については、18有余年の永きにわたり最上町社会福祉協議会の理事を務めた最上町の大石紳一郎さんが登壇し、受賞者を代表して表彰状を受領されました。

式典終了後、「認知症が私たち家族にくれたギフト」と題して、映画監督・ノンフィクション作家の信友直子氏から、認知症の問題について家族だけで抱え込まず、周りの人に頼ることの大切さについてご講演いただきました。

館内では、最上地区の6つの障がい福祉サービス事業所の授産製品販売会も開催され、多くの入場者よりお菓子や食品、縫製品などお買い上げいただきました。

[地域健康福祉課 29-1276]



## 高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて



(左から 講師：山本哲也 氏 意見発表者：本間真生 氏 庭崎賢恵 氏)

10月28日、新庄市民プラザ大ホールにおいて、第21回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会を開催し、最上地域の首長や県議会議員、市町村議会議員など約200名が出席しました。しんじょう観光大使で元NHKアナウンサーの山本哲也氏による『「小さな旅」から見えてくる日本』と題した基調講演の後、地域で活躍する2名の方から、高規格道路の必要性や早期整備を期待する思いなどを発表いただき、その後、広域交流・連携に不可欠な高規格道路網の早期整備を要望する大会決議を満場一致で採択しました。今後も東北中央自動車道、新庄酒田道路、石巻新庄道路による「高規格道路連携軸」の整備促進に向け、地域の盛り上がりと機運醸成を図ってまいります。

[建設総務課 29-1391]

## 最上地域の豊かな暮らしをPR!



10月9日、東京都で「くらすべ山形! 移住・交流フェア」を開催しました。最上地域からもブースを出展し、仕事や住まいなど、移住に関する疑問や悩みにお答えしました。また、当日は先輩移住者が生産したおいしい農産物を直売する移住・交流マルシェも同時開催され、最上の上質な食の魅力も併せてPRしました。

続けて、10月29日には、同じく東京都で山形県最上地域移住セミナー「ハッピーライフカフェ最上」を開催しました。当日は、最上地域の豊かな自然環境で子どもと一緒に“自分らしく”を育む先輩移住者2名をゲストにお招きし、最上ならではの暮らしについてご紹介いただきました。先輩移住者からは、「自然の中で子育てやご近所との関わりの深さがこの地域の良さである」「まずは足を運んでもらって最上地域の暮らしを体験してほしい」との話がありました。

今後もオール最上で移住を希望する皆さんをサポートしてまいります。  
[連携支援室 29-1239]



## 県産木材を使った「積み木贈呈式」

10月24日、はぐくみ保育園（新庄市北町）において、県産木材を使った積み木の贈呈式を開催しました。同園を訪問した泉支庁長は、最上地域のイメージキャラクター・モガミルになり、「やまがたの木が持つ温かさや優しさに触れながらいっぱい遊んでね。」と呼びかけて積み木を園児代表に贈呈しました。早速、園児たちは積み木遊びを楽しんでいました。



泉支庁長から園児への贈呈式



贈呈した積み木



積み木で遊ぶ園児たち

この取組みは、幼児期からやまがたの木を身近に感じてもらうため、県内の認可保育所に製材所から発生する端材等を使った積み木を提供し、県産木材の利用を推進する「やまがた木づかい運動」の一環として実施しました。

[森林整備課 29-1347]

# フードドライブを初めて開催 ～「もったいない」を誰かの「ありがとう」に～

食品ロス削減月間にあわせて、10月20日・21日に最上総合支庁で初めてフードドライブ（家庭で眠っている食品を職場などに持ち寄り、食料の支援を必要としている方に提供する活動）を開催しました。

最上総合支庁及び最上管内8市町村役場の職員を対象に、未開封で賞味期限が1ヵ月以上残っており、常温保存可能な食品の提供を呼びかけたところ、お米、乾麺、レトルト食品、飲料、お菓子など714点、重さにして295kg（米138kgを含む）の食品が集まりました。

集まった食品は、フードバンク活動団体（一般社団法人やまがた福わたし）に提供しており、今後、同団体を通して、主に最上地域で食の支援を必要としている世帯や子ども食堂等に寄付されます。

県では、これからも「ごみゼロやまがた」の推進に取り組んでまいります。

[環境課 29-1287]



ごみゼロやまがた県民運動  
キャラクター「ごみゼロくん」

家庭から  
食品ロスを  
減らすゼロ！



食品の提供の様子



集まった食品

## 「大高根農場記念山形県農業賞」授賞式

11月24日、ホテルメトロポリタン山形において、令和4年度「大高根農場記念山形県農業賞」授賞式が開催され、最上管内からは元もがみ中央農業協同組合代表理事組合長の安食賢一氏（新庄市）、農事組合法人五月晴れファーム代表理事三條清美氏（大蔵村）のお二人が受賞されました。受賞者を代表し、安食さんが、「今後も県発展のため、引き続き頑張っていく。」と感謝を述べました。



安食 賢一 氏



三條 清美 氏

[地域産業経済課 29-1307]

## 最上農業賞受賞おめでとうございます

11月24日、ニューグランドホテルにおいて、最上農業賞表彰式（最上地域農業・畜産振興協議会主催）が開催され、農業者・市町村・農協など約60名が参加し、受賞者を称えました。

◎最上農業賞

【組織活動部門】

大蔵村農業後継者の会  
メンズ農業

◎最上農業賞

【特別部門】

三條 清美 氏（大蔵村）

（ご家族が代理で受領されました。）

[農業技術普及課 29-1322]



## 「環境やまがた大賞」 最上管内から2団体が受賞

第23回「環境やまがた大賞」の選考の結果、最上地域から「サーモンロードの会」（鮭川村）が大賞に、「NPO法人 田舎体験塾つのかわの里」（戸沢村）が奨励賞にそれぞれ選出されました。



両団体の、長年にわたる環境保全活動や環境教育活動が評価されたものです。

10月15日に表彰式が行われ、両団体の代表者に表彰状が手渡されました。

おめでとうございます。

[環境課 29-1285]

## 幸福度ランキング全国第7位！

「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」（日本総合研究所）において、山形県が総合7位になりました。ランキングは、健康、文化、仕事、生活、教育など、80の分野に関する統計データから幸福度を算出したものです。これからも地域の皆様とともに、幸せを実感できる「やまがた」の創出に取り組んでまいります。

「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」において、山形県は総合7位となりました。調査開始から一貫して順位を上げ続けているのは本県のみ！

[総務課 29-1360]



## 『魅せる農』を目指してインスタデビュー♪

11月16日、新庄市のエコロジーガーデンで、「インスタグラムを活用した『魅せる農』実践講座」がスタートしました。

3回シリーズのこの講座は、農業者等がSNSを活用して、農作物や加工品のPRや販路拡大につなげてもらおうと企画したもので、この日は19人が参加。多くの方が初心者で、アプリの操作や特有の用語に苦労していましたが、全員が「フォロー(投稿を見る)」と「シェア(投稿)」をすることができました。

参加者は「難しかったけど投稿練習を続けて次回に臨みたい!」と意欲を燃やしていました。

[農業振興課 29-1315]



スマートフォンを使った実践講座

## 高病原性鳥インフルエンザ・ 口蹄疫・豚熱等防疫演習

11月25日、最上総合支庁講堂において、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の感染力が強い家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を行いました。支庁職員、管内市町村及びJAの担当者など45人が参加し、個人防護具の着脱方法や、防疫作業の手順について確認しました。

家畜保健衛生課では、引き続き、生産者及び関係機関と連携を図り、発生防止に努めると共に、万が一に備えてまいります。



[家畜保健衛生課 29-1357]

## ～男女共同参画～

### 誰もが主役・輝く最上のひとづくりシンポジウム

11月6日、「ゆめりあ」を会場に開催しました。

当日は39名の皆様からご参加いただき、(株)さくらプランニング 工藤恵子氏をコーディネーターに迎え、4名のパネリスト(劇団ICO・信夫春香氏、赤倉編集室・山崎香菜子氏、陶芸作家・金寛美氏、ちいさな町のちいさい花屋さん・栗田由香氏)から、これまで活動のきっかけ、楽しさややりがい、苦労などをお話いただき、今後の活動や展望をお話いただきました。



[子ども家庭支援課 29-1245]

## 企業向け女性活躍、ワーク・ライフ・バランス推進研修会

### 人それぞれが活躍を

～“働きがいのある人間らしい働き”を目指して～

12月1日、オンラインで、約30名の企業経営者や人事労務担当者等を対象に研修会を開催しました。

講師の(株)マイスター(寒河江市)高井作会長から、先進的な取り組みと効果をご紹介いただき、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画をより意識し、働きやすい職場を築くためのモチベーションとなる研修となりました。



[子ども家庭支援課 29-1245]

## 最上地区青少年育成推進員研修会

10月15日、真室川町「イベントハウス遊楽館」を会場に、最上地区青少年育成推進員研修会が開催されました。

研修会開催に先立ち、長年青少年育成推進委員としてご活躍されました4名の皆様に感謝状が贈呈されました。

研修会では、神室少年自然の家施設管理者 齋藤秀二氏をお迎えし、「自然と仲間と地域とのふれあいで成長していく子どもたち」と題して、これまでの教員生活を通しての子どもたちとの触れ合いについてご講演をいただきました。



[子ども家庭支援課 29-1245]

## 最上地域の農福連携事業を視察!

11月8日、鮭川村にて農福連携にかかる現地視察研修会・交流会を開催しました。今回は、障がい者の就労拡大と農業労働力の確保を狙っている農福連携の好事例を学ぶことなどを目的に、行政や福祉事業所等の職員24名が参加しました。

当日は、障がい者が行うエノキタケ収穫作業(株縁の起)、椎茸パック詰め作業(JAおいしいもがみ菌床椎茸パックセンター)の視察と、視察を踏まえた意見交換、課題共有を行い、農福連携について理解を深めました。

[地域健康福祉課 29-1275]



## 地域を守る“田んぼダム”

11月14日、新庄市塩野地区で“田んぼダム”の研修会を開催しました。“田んぼダム”は、大雨の時に一気に流れ出す排水を、水田の水をためる機能を活用してゆるやかにすることで、下流地域での冠水などの被害を軽減する取り組みです。

研修会は「最上町広域協定（多面的機能支払活動組織）」が主催し、県内でも先進的に取り組む「塩野地域資源保全会」の全面協力によって、現地を確認しながら取り組みの効果や留意点などを理解する機会となりました。

近年頻発する豪雨災害の対策として管内での取り組み拡大を促進します。〔農村計画課 29-1341〕



## 秋の”イバラトミヨ塾”開催

10月25日、新庄市野中・中川原地区で“秋のイバラトミヨ塾”を開催しました。

これまで「ふるさとのお宝を知る」取り組みとして、希少な生物を通して地域の環境について学習している明倫学園の4年生が、5月に保全池からイバラトミヨを捕まえて、学校の水槽で飼育し、生態を観察してきました。

秋の塾では、学校で育てたイバラトミヨ達を保全池に放流し、周辺の除草やゴミ拾いなど環境整備にも汗を流しました。

子ども達はこれから、塾での学びを振り返りながら「20年後の指首野川」を考え、指首野川の環境を守るための取り組みを提案することにしています。〔農村計画課 29-1342〕



## オイルフェンス設置訓練 ～油流出事故を防ぐ～

河川への油流出事故が増加する冬に向けて、11月15日、国土交通省や県等は、オイルフェンス組立設置訓練を行い、設置方法や手順を確認しました。河川に油が流出すると大がかりな作業が必要となり、その費用は原因者負担となります。

良好な環境を守るためにも「ホームタンクから給油する際は、その場から離れない」等、灯油の流出事故を防ぎましょう。

### オイルフェンス設置訓練の様子



〔環境課 29-1286〕

## ふるさとをまもり未来をつくる 土木技術者たちのはなし

10月27日、新庄神室産業高校において、新庄・最上ジモト大学を開催し、同高校の2年生17名、新庄南高校の2年生2名、新庄東高校の2年生19名が参加しました。第1部のパネルディスカッションでは、最上地域で意欲的に建設業に携わる若者4人から、仕事の充実感・やりがい・夢などを紹介いただきました。第2部の意見交換では、進路選択を控えた高校生から、職場環境や工作上必要なことなどについて、地元で働く先輩の山形県建設業協会最上支部青年部員の方々と意見交換を行いました。



〔建設総務課 29-1391〕

## 地元働く × もがみ しごと一っく 仕事の魅力発信

10月28日新庄東高校、11月10日新庄南高校で地域の職場で働く先輩から仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしについてお話いただく特別授業を開催し、先輩との交流を通して仕事や企業に対する理解を深めました。

〔地域産業経済課 29-1309〕



## 地域別期 研修会・交流会 MOGAMI Rookies Luncheon Meeting ～ MOGAMI ルーキーズ ★ ランチオンミーティング ～

11月30日、舟形町のラ・テールを会場に若者定着・早期離職防止を目的として地域内の若手職員研修会&交流会を開催しました。

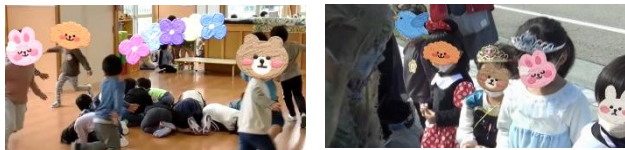
合同会社 work life shift 伊藤麻衣子氏を講師に「プレゼン能力の向上」をテーマにグループワークを行い、参加者は、プレゼンスキルや社会人基礎力を学んだほか、業種を超えたつながりを持つことができました。



〔地域産業経済課 29-1309〕

## 最上地域みんなで子育て応援団 施設視察研修

初めての Zoom 開催！手探りの中、正会員の皆様と協力して無事開催できました！



11月11日、応援団会員の9つの保育施設から動画を提供いただき、視聴による Zoom 研修を開催しました。

視聴後のディスカッションでは、「他施設内を見る機会が中々ないのでとても参考になった。」との感想や、撮影時のポイントや編集方法などの意見交換が行われ、有意義な研修となりました。

[子ども家庭支援課 29-1245]

## 放課後の子どもの学びと理解

11月1日、「第2回放課後子ども総合プラン指導者研修会」を神室少年自然の家で開催しました。放課後子ども教室、放課後児童クラブの支援員等が対象の研修会で、当日は37名が参加し、軽スポーツ、リサイクル工作、自然散策、一次救命措置を体験しました。参加者からは「子どもたちと一緒にやってみたい。」「他の学童の先生と交流する貴重な時間になった。」などの感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。

県では今後とも放課後子ども総合プランの推進に取り組んでまいります。  
[子ども家庭支援課 29-1221]



## 「東北道 安達太良SAでの 誘客キャラバン」の実施

東北中央自動車道「東根北IC—村山本飯田IC」間の開通により、最上地域が首都圏と高速道路で直結することにあわせ、10月15日、16日に安達太良SA下り線で、観光誘客キャラバンを実施しました。

開通について、興味・関心のある方も多く、管内観光パンフレットの配布やご当地キャラクターの登場により、最上地域への誘客を促進しました。



かむてん（新庄市）  
モガンバ（最上町）他



[観光振興室 29-1311]

## もがみ農村体験ネットワーク実践者研修会 「食ってけろ〜もがみ」の実施

11月2日に最上地域の農村体験実践者等の活動の活性化や交流促進、そして地域の魅力発信を目的に、仙台AER1階アトリウムで、農産物や木工品等の販売、木工クラフト体験等を行いました。

仙台市にお住まいの方を中心に、最上地域ならではの魅力をPRできました。

[観光振興室 29-1312]



## 最上・村山インバウンドモニターツアー 「バスで巡るとっておき 山形冬景色のたび2日間」の実施

12月3日、4日にインバウンドの拡大を見据え、県内在住の外国人の方を対象に、モニターツアーを実施しました。

雨模様となりましたが、最上伝承野菜「角川かぶ」の収穫体験や最上川舟下りなど、ここでしか味わえない体験を満喫していただきました。



[観光振興室 29-1311]

## 「地域の魅力発信の強化や 周遊の促進に向けた研修」の実施

11月16日に外国人旅行者の受入態勢を強化するため、異文化への配慮や地域の魅力を英語で伝えるコツなどを学ぶ研修会を最上総合支庁講堂で、開催しました。

今回は、観光ガイドや物産店スタッフなどが参加し、業務ですぐに導入できる「実用英語」や「自動翻訳アプリ」などを学び、インバウンド対応のためのスキルアップを図りました。



[観光振興室 29-1311]



### 雪下ろし作業等への準備・心構えは万全ですか？!

雪害による人的被害は毎年のように発生し、その原因は“ふとした油断”“過信による安全管理不足”によるものが多くを占め、中でも屋根やハシゴからの転落による骨折等の重傷事故の発生は後を絶ちません。



万が一に備え、しっかり装備し、安全な雪下ろし作業等を行いましょう。

[防災安全室 29-1209]

### 道路除雪作業についてのお願い

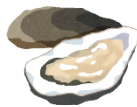
- 深夜・早朝の除雪作業にご理解を！  
通勤通学時間にあわせるため早朝や深夜に行うことがあります。
- 道路に雪を捨てないで！  
道幅が狭くなり、スリップや歩行者との接触事故の原因になります。
- 寄せ雪処理にご協力を！  
ご家庭やご近所で協力し合い除雪後の寄せ雪処理をお願いします。
- 流雪溝の投雪ルールを守りましょう！  
地区で決められたルールを守り、作業後は必ず蓋を閉めましょう。 [道路計画課 29-1397]

### ノロウイルス食中毒にご用心！

ノロウイルスによる食中毒は一年を通して発生していますが、特に冬に流行します。日頃から丁寧な手洗いを習慣づけ、感染を予防しましょう。

<予防のポイント>

- 調理者の健康管理
  - ・症状があるときは、食品を扱う作業を避ける
- 手洗の徹底
  - ・石鹸を使用した二度洗い
- 食品はしっかりと加熱する
  - ・85℃以上、90秒以上で中心部まで加熱



[生活衛生室 29-1261]

### 安全なお風呂の入浴術



冬は入浴事故の多い季節です。特に、60歳以上の方に多く発生しています。入浴習慣を見直し、安全で快適なお風呂ライフを楽しみましょう。

安全に入浴するためのポイント



- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょう  
温度の急激な変化により血圧が大きく変動するなど、身体に大きな負担がかかります。
- お湯の温度は41℃以下にしましょう  
熱いお湯は急激に血圧を上昇させます。ぬるめのお湯にゆっくりつかることで、リラックス効果が高まります。
- あがる時はゆっくりと立ち上がり、立ちくらみなどによる転倒に注意しましょう。

[地域健康福祉課 29-1267]

## お子さんを持つ最上管内の保護者の皆様へ ～医療機関の適切な受診について～

○新型コロナの感染拡大により、検査のために受診する軽症の患者が増加しており、新型コロナ医療・一般医療に影響が出ています。発熱等の症状が出た場合は、あわてず、下記のとおり対応をお願いします。

【発熱や咳など「軽い症状」がある場合】

- ⇒かかりつけ医（定期的に受診している医療機関）がある場合は、当該医療機関へ電話で受診相談
- ⇒かかりつけ医がない場合は、「受診相談コールセンター」に相談（0120-88-0006、24時間対応）

【自己検査で「陽性」になった場合】

⇒専用 Web サイト（24時間受付）から登録（小学1年生以上64歳以下の方）

<https://yamagata.form.jp-covid-register.com/index.php/387498?lang=ja>

※登録方法に関する相談窓口

050-5444-2359（9：00～17：00）

登録はこちらから



[保健企画課 29-1268]

発行日：令和4年12月12日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

